

平成30年(2018年)9月6日

診断書等の簡素化等に関する 損害保険業界の取組み等について

一般社団法人 **日本損害保険協会** 

次 第

- 一般社団法人 日本損害保険協会について
- 診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取組み
- 診断書の標準化・簡素化等にかかる今後の取組み（予定）

次 第

- 一般社団法人 日本損害保険協会について
- 診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取組み
- 診断書の標準化・簡素化等にかかる今後の取組み（予定）

一般社団法人 日本損害保険協会について

一般社団法人日本損害保険協会(損保協会)は、損害保険会社を会員とする事業者団体で、わが国における損害保険業の健全な発展および信頼性の向上を図ることにより、安心かつ安全な社会の形成に寄与することを目的としています。

主な事業内容

1

損害保険の普及啓発・理解促進に資する事業

(例) 消費者向け情報提供、学校教育、消費者行政機関との対話など

2

損害保険契約者等からの相談対応、苦情・紛争の解決に資する事業

(例) 損害保険に関する相談対応、会員損害保険会社とのトラブルの解決支援

3

損害保険業の業務品質の向上に資する事業

(例) 消費者の声を起点とした業務改善の取組み、各種ガイドラインの策定など

4

損害保険業の基盤整備に資する事業

(例) 地震保険・自賠責保険の制度への対応、要望・提言、業界共同システムの開発・運営など

5

事故、災害および犯罪の防止・軽減に資する事業

(例) 保険金支払いの適正化、交通安全対策、防災・防犯対策など

6

損害保険業に関する研修、試験および認定等の事業

(例) 損害保険募集人に対する試験制度の運営など

一般社団法人 日本損害保険協会について

会員会社一覧（2018年9月現在：26社）

あいおいニッセイ同和損保 アイペット損保 アクサ損保 アニコム損保 イーデザイン損保
AIG損保 エイチ・エス損保 SBI損保 au損保 共栄火災 ジェイアイ セコム損害保険
セゾン自動車火災 ソニー損保 損保ジャパン日本興亜 そんぽ24 大同火災
東京海上日動 トーア再保険 日新火災 日本地震 日立キャピタル損保 三井住友海上
三井ダイレクト損保 明治安田損保 楽天損保



損保会館

次 第

- 一般社団法人 日本損害保険協会について
- **診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取組み**
- 診断書の標準化・簡素化等にかかる今後の取組み（予定）

診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取り組み

診断書様式作成にあたってのガイドライン（2013年10月策定）

対象

傷害保険、医療保険、所得保障保険

目的

- 会員会社の診断書様式の標準的な作成
- 医療機関側の記載に要する負担の軽減
- 的確な医療情報を得て適時・適切かつ公平・公正な保険金支払

概要

- 会員会社が診断書様式の作成を行うにあたっての基本的な考え方、採用項目および留意点をとりとめたもの
- 「可能な限り選択式とする」「補足説明を記載する」「表現やレイアウトに留意する」等、医療機関にとって記載しやすい工夫例を掲載
- 診断書以外に代用できる書類があれば、可能なかぎり活用

診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取組み

会員会社における主な取組み事例

- 診断書の作成時や改定時には、極力追加は行わず、表現やレイアウト、見易さにも配慮し、ガイドラインに沿った記載しやすいものにするよう、以下のような工夫をしている。
 - ○や☑を付けるだけですむよう予め選択肢を用意
 - 医師の意見も参考に○をつけるよりも☑の項目を増やし、記入しやすくした。
 - 記載時の注意点や依頼事項、案内する「診断書記入例」を診断書の裏面に配置
 - 項目追加を行う場合は、必要最小限としている。

診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取組み

診断書機械印字化ソフト

- 診断書電子化検討連絡協議会(事務局:生命保険協会)に参画
- 2008年から2010年にかけて上記ソフトの普及拡大に取組み
- 現在は、会員会社の診断書様式の更新(メンテナンス)が中心

次 第

- 一般社団法人 日本損害保険協会について
- 診断書の標準化・簡素化等にかかるこれまでの取組み
- 診断書の標準化・簡素化等にかかる今後の取組み（予定）

診断書の標準化・簡素化等にかかる今後の取組み（予定）

ガイドラインの周知・徹底等

- ガイドラインの周知・徹底・点検を行う取組みができないかの検討を行う。
- 上記取組みを通じて好取組例の共有を行い、会員会社の診断書の気付きを促すような取組みを検討する。

ガイドラインの点検・見直しの検討

- ガイドライン策定から5年を経過していることをふまえ、上記周知・徹底等の取組みのなかで、必要に応じ、見直しも検討していく。
- ガイドラインに記載の無い項目で、医師の負担軽減に繋がる取組みがあれば、検討のうえ、ガイドラインへの追加を検討していく。

ご清聴ありがとうございました